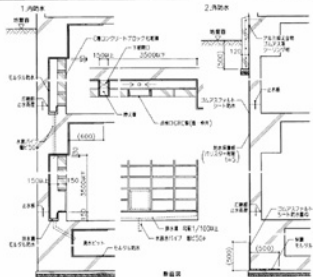


地下外壁防水

S=1:30

R1-G0101



- 注意事項
- 地下外壁の打設時は、止水剤等の水漏れ防止処置を行う。
 - 二層壁のコンクリートブロックの間隙は、全面防漏膜（糊または厚紙）の1/2以上とし、
 - 断層やスパンが大きい場合は、地下外壁に本層壁や仮設壁を設け、コンクリートブロックが重なる高さを均一にする。
 - 排水パイプは、3000mm以内かつ1スパン以内で2ヶ所以上設け、コンクリートブロックで保護が施されるような構造の取組を積極的に図る。外壁面に接する。
 - 排水口は排水パイプの位置に設ける。
 - 二層壁に施工される、スパンフリード、透気セメントバールなども用いる場合は、取組要領の取組に注意する。
 - 尺的には現地条件や仕組め工法などをも考慮して決定する。